



信太の森ニュース

No. 29

2018年3月31日



惣ヶ池湿地の春。

この冬惣ヶ池湿地の池は氷る日が例年に比べると多かったようです。それだけ今年には寒さが厳しかったということでしょう。その寒さが冬の渡り鳥の減少やニホンアカガエル産卵の減少に関係しているのかも知れません。

そうかと思うと信太山丘陵でウグイスの初音を聞いたのが2月21日。昨年と比べると4日ほど早めの初音が聞けました。

ウグイスが鳴く頃にはフキノトウも顔を出し、そろそろ花の季節。

枯野の惣ヶ池湿地の畦道ではフモトスミレやシハイスミレが畦道を飾り、ヤマザクラが咲きだすと周囲の森のコナラやアベマキが芽を出して薄い萌黄色になってきます。

ベンチの周りではコゲラが盛んに幹をつつき、メダカが泳ぎ出すとカワセミの活動が活発になってきます。

NPO法人 信太の森FANクラブ
事務局：〒594-0013 大阪府和泉市鶴山台3丁目4番1-202
電話 0725-45-7357
E-mail tamahati@amber.plala.or.jp

市有地ツツジの丘で放火

新年早々の1月7日(日)は公園協議会の活動日でした。1年半前に藪化したネザサを切り開いた西側広場の2度目の刈取り作業を行いました。

その際、ツツジの丘に通じる道に踏み込んでみると焼け跡がみつき、その焼け跡はツツジの丘直前まで続いていました。ツツジの丘が焼けなくてよかったと安堵したものです。

焼け方を調べてみると樹木の根元の幹が真っ黒に焼けていて、明らかにバーナーで意図的に焼いたと思われる状況でした。

その山火事があったのは12月下旬頃のことだと山の谷の住民から聞いたのが1月26日のことでした。

それから5日後の1月31日の午後7時頃車で蔭涼寺から鶴山台団地に入ろうとしたところ蔭涼寺付近で警察官に止められ、山火事があったと迂回を命じられました。

警察官からは火災現場は「自衛隊の演習場の奥で」と聞いていたので安心していたのですが、翌日確認に行くと前回焼けた延長線上のツツジの丘が放火されていました。



ツツジの丘は前代表の花田茂義さんと一緒に里山運動以前から保

全活動
を続け
ていて、
現在の
信太山
丘陵内
の他で
は観られないヤマツツジとモチツツジ群落が楽しめる唯一の場所であっただけに残念でなりません。



その後、花芽を見て回ったところ、殆どが枯れたようになっており、今シーズンの開花は望めません。

今後の状況をみなければわかりませんが、満開のツツジを楽しめるようになるには5年以上はかかるのではないかと心配しています。

惣ヶ池湿地では

惣ヶ池湿地内の池は冷えこむ日が続き、何度も氷が張りました。1月10日の惣ヶ池湿地初作業は参加者が7名(うち女性3名)と少なく、スイレンの除去作業を中止して湿地内に張り出した樹木の枝を高枝鋸で切り落とす作業を全員で行いました。これで湿地内が少しすっきりした感じになりました。

その後の定例活動日はスイレンの抜取、畦道のネザサ刈りといったもの作業と変わりませんが、故花田茂義さんの家に置いたままになっていた格納庫を安全に惣ヶ池湿地に運ぶための階段作り、格納庫の搬入作業を7、8名の会員のみなさんに手伝っていただき無事搬入を終えました。

3年前にはじめた外周柵作りも3月15日について完成しました。お手伝いいただいたみなさんには感謝申し上げます。

その他畦道の補修やベンチ広場の階段作りなど少しづつ進めているところです。

2018年度総会のお知らせ

今年度総会を下記のとおり開催します。
議案書等は後日送付する予定です。

日 時 2018年5月13日(日)

10:00~12:00

場 所 信太の森ふるさと館